

城東区区政会議地域福祉部会（7月16日）での意見・質問への区の考え方

番号	会議	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方
1	福祉部会 (7/16)	<ul style="list-style-type: none"> 現在、地域包括センターなどすでに、いろいろ取り組みが行われている。 しかし、百歳体操や食事会などを行うものの、出てこない人もおり、地域での支え合いにも限界がある。 介護保険制度の改定に際し、<u>要支援1,2の方の現状を区でつかんでもらのか。また、地域では何をすればいいのか教えて欲しい。</u> 地域福祉が削られるなら、<u>予防に取り組み、そこを支援する必要があるのではないか。</u> 障がい者の観点から例えば80歳の親が50歳の障がい者を介護しているが、対処しきれていらない状況が見受けられる。 また、50歳の障がい者が行く施設がない。 介助している親が地域との関係づくりが出来ていない状況もある。 障がい者施策に関しても地域や民間委託化へ移行していっているが、民間は利益での事業にしか参入しない。 また、障がい者も65歳になれば介護保険に移り受けられるサービスが低下するといったことが生じることがある。 今後<u>その辺を考慮した計画策定をお願いする。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 城東区では、自らの健康に关心を持ち、<u>検診の受診や介護予防など健康寿命の延長に取り組む。</u> ソーシャルインクルージョン推進事業では、地域で共に生き、暮らせるまちの実現に向け、<u>地域住民やNPO等各種団体・事業者等と連携した、地域全体で考え支え合う地域福祉システムの構築に取組む。</u> また、<u>地域自立支援協議会において、区内障がい者施設が連携を図るとともに、相談支援・地域活動・当事者・就労・居宅介護の部会がそれぞれ活動している。</u> <u>活動がより良いものとなるよう、今後も支援する。</u> <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者、障がい者、子どもを地域が互いに見守り、支えあうまちを目指し取組む (主な取組み) 地域における要援護者の見守りネットワークの強化事業 ソーシャルインクルージョン～地域全体で考え支え合う地域福祉システムの構築と充実 いきいき・かみかみ百歳体操の実施 高齢者食事サービス事業の実施
2	福祉部会 (7/16)	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度の改正について 制度改正の大都市の対応方針をいつごろ決めるのか、平成29年度までの<u>移行スケジュールはどうか</u>を示して欲しい。 また、その状況を<u>広報誌などで広報する必要がある。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度の改正案では包括支援事業の充実と予防給付の多様化などを目指す地域包括ケアシステムの構築と低所得者の保険料軽減の拡充などの費用負担の公平化が主な内容。国の制度改正をふまえた大阪市全体の取り組みとなるので、<u>市の対応方針が明らかになり次第、区ホームページや広報紙に掲載するなど広報に努めます。</u>
3	福祉部会 (7/16)	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者自立支援事業は高齢者、障がい者への地域就労支援事業とダブるのではないか、どのような方法で実施されるのか また、この事業を起動するには面接対策やレセプトの書き方、それと、ハローワークと連携してマッチングをやらなければ前に進まない 支援事業自体は局の予算としても補完事業を区の予算でやる必要があるのではないか 運営方針に就労対策ものせてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> この事業は、27年4月から本格実施されます。 様々な課題を抱えた生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、個々人の状況に応じた支援計画を作成し、包括的、継続的な相談支援を行います。 <u>ハローワークなど様々な関係機関や地域などとの連携が必要であり、城東区では今年度10月よりモデル事業として先行実施し本格実施に向け検証を行います。</u>

番号	会議	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方
4	福祉部会 (7/16)	<ul style="list-style-type: none"> ・区が発送する封筒への記章の刻印をやっていただきたい。 ・また、その刻印を、福祉作業者などに発注できれば工賃にもなると思うので、ぜひ考えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・封筒への記章の刻印に関しては今後調査し検討していく。 ・区では福祉作業所などへの調達方針については、本市における平成25年10月1日付け策定の「障がい者就労支援事業所等からの物品等の調達方針」並びに、当方針に関する福祉局長・市民局長・契約管財局長連名通知に基づき調達事務を行っています。 ・すなわち、地方自治法施行令第167条の2 第1項第1号(いわゆる少額随意契約)を積極活用し、少額随意契約の適用範囲内において、公募型比較見積を除く比較見積により発注を行う際には、調達方針第2に掲げる障がい者就労支援事業所等を優先して比較見積を徴することとしている。
5	福祉部会 (7/16)	<ul style="list-style-type: none"> ・27年度から子ども・子育て関連3法が施行されるので、スムーズに移行できるような支援策をつくり、円滑に実施していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では子ども・子育て支援新制度については、市会においても、制度の周知・啓発について取り上げられ、パンフレットの配付や広報だけではなく、制度の説明会を市立こども文化センター、阿倍野区役所、淀川区民センターで行われる予定となっている。 ・区においては、区役所を始め、子育て支援施設等をはじめ、イベント時にパンフレットの配架を行うなど周知に努めている。 ・今後は、制度の説明を始め幼稚園や保育所などの相談を総合的に受けける体制の整備を予定している。
6	福祉部会 (7/16)	<ul style="list-style-type: none"> ・区の運営方針には、教育関連の記載がない。区長の権限の範囲で、読書活動とか学習支援など学校支援をできないか。 ・区としての教育に関する方向性、方針を持っていただき運営方針にも記載してほしい <p>(7月1日本会でのご意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育に関しては教育委員会の施策としているが、学校選択制は区がきめた。 ・小・中学校の生徒が多い区としてもっとこどもや児童に関する施策が見えてもいいのでは ・大阪はこどもの教育面、体力面全国的に劣っている。 ・27年度の運営方針には何か対策をいれていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関しては教育委員会の施策であり、現在、区では「区担当理事としての職務」や「区が教育委員会から補助執行や委任事務を受けた事務」を行っている。学校選択制の導入もその一環です。 ・また、保護者や地域住民の方々の意向を学校運営に反映させるために、現在、すべての市立学校園に学校協議会が設置され、運営されている。 ・区としては教育委員会や学校のご意見を伺いながら区として出来ることを検討してまいりたい。 <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営方針に教育に関する事項の記載はしないが、関連予算を措置する。 <p>(関連する取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に応じた学校教育支援を行う 発達障がいサポートなど ・小学校駅伝大会やミニマラソン大会など 区民スポーツ事業の推進

番号	会議	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方
7	福祉部会 (7/16)	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前の子供で保育所や幼稚園に行っていない子供がいる。 ・<u>公立幼稚園がなくなれば、保育料が上がり、就学前に保育所や幼稚園に行けない子がふえるのではないか。</u> ・城東区で就学前の1年、どこにも行けていない子がどれくらいで、<u>どういうふうに手当をすればいいのか、区として検討できないか。</u> ・<u>市として私学の保育費への援助を企画できないか。</u> 	<p>・保育料については、新制度となった幼稚園については、<u>保育所と同様に所得による保育料となる。現行の幼稚園の場合、園独自の保育料となるが、所得に応じて、私立幼稚園修園奨励費補助が助成される。</u></p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城東区のH25.10 現在の状況 <ul style="list-style-type: none"> 0～5歳人口：8,482人 3～5歳人口：4,259人 ・区内施設入所児童数 <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園在籍児童数 1,843人 人口比43.3% 保育所在籍児童数 2,099人 人口比49.3% 合わせて約92%となっている。(ただし、在籍児童数については区外からの児童数を含み。区外施設への入所者数については未集計)
8	福祉部会 (7/16)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>若い人たちが地域で無償で動くような気持ちを持つような教育、あるいは運動に助成したり、成人式の実行委員会をやっている方たちを地域の福祉やまちづくりの将来の担い手になるようなシステムがつくれないか。</u> ・いろんな機会をとおして、地域福祉にいろんな方にたずさわってもらい、<u>人材育成を進め地域福祉を充実させる必要がある。</u> 	<p>・地域の次代の担い手は、地域のまつりや行事に子どもの頃から参画し大人を見ながら育っていく、また、引越ししてきた方などは自治会の行事に参加したり、役員を経験することで育っていくと考えられる。</p> <p>・<u>区としては区や各地域の行事や防災訓練などにおいて地域コミュニティの大切さをつたえていくとともに、各校下の地域福祉アクションプランの取り組みを中心に入材発掘のための講座を開催するなど地域を支えていく次代の担い手の発掘のお手伝いをしていく。</u></p> <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】 (主な取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルインクルージョン～地域全体で考え支え合う地域福祉システムの構築と充実 ・城北川フェスティバルの開催 ・キャンドルナイトの実施 ・SARUGAKU祭の開催 ・第九演奏会の実施

番号	会議	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方
9	福祉部会 (7/16)	・ソーシャルインクルージョンに関する経費 23,000千円の費用対効果が知りたい	<p>・本事業は、要援護者を含む全ての地域住民が平常時から繋がりを深めながら災害時に備えるとともに、地域の実情に応じた課題を解決できる新たな地域福祉システムの構築をめざして、各校下に地域福祉のスペシャリストとして地域福祉支援員を配置しています。</p> <p>・現在16校下中15校下に配置し、平成25年度の相談件数は約600件、地域の見守り活動は約950件となっています。また、「ふれあい喫茶」など地域での活動へも参加しております、活動時間は約20,000時間となっています。</p> <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における要援護者の見守りネットワークの強化事業 ・ソーシャルインクルージョン～地域全体で考え支え合う地域福祉システムの構築と充実
10	福祉部会 (7/16)	・情報収集や発信など、地域福祉を強めていくため、地活協の事務局機能を強める方法を検討する必要があるのではないか	<p>・地域活動協議会の活動を支援するため中間支援組織と連携し、必要な支援に取り組む。</p> <p>【平成27年度運営方針及び予算】</p> <p>(主な取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動協議会補助金の支出 ・新たな地域コミュニティ支援事業（中間支援組織の継続）

番号	会議	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方
11	福祉部会 (7/16)	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク委員が半日週3回入っているが、これでは地域福祉を本当にやっていくには事務量が多すぎるのではないか ・これを<u>地域が分担するとなれば、地域に大変な負担となるのでは</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク推進員は大阪市の制度としては24年度をもって廃止されたが、<u>城東区ではソーシャルインクルージョン推進事業</u>の中で、25年度より各校下より選出され、区長が任命した地域福祉支援員が活動に活動し地域における福祉活動を支援していただいている。 ・<u>地域活動協議会の活動を支援するため中間支援組織と連携し、必要な支援に取り組む。</u> <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】 (主な取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における要援護者の見守りネットワークの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルインクルージョン～地域全体で考え支え合う地域福祉システムの構築と充実 ・地域活動協議会補助金の支出 ・新たな地域コミュニティ支援事業（中間支援組織の継続）
12	福祉部会 (7/16)	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめや不登校、防災、要支援者、障がい者、DV情報などを区と地域や団体が共有し、対策する必要があるのでは、条例を変えてでも情報共有できるようにする必要があるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待対応では、要因となるDV・障がい・不登校など、要保護児童地域対策協議会に登録の上、学校、保育所、地域や団体など情報を共有し見守りなどを行っています。 <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】 (主な取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障がい者、子どもを地域が互いに見守り、支えあうまちを目指し取組む。 ・地域における要援護者の見守りネットワークの強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルインクルージョン～地域全体で考え支え合う地域福祉システムの構築と充実（子ども青少年局事業） ・スクールカウンセラー事業
13	福祉部会 (7/16)	<ul style="list-style-type: none"> ・DVということだけではなく、婦人保護の観点から女性問題にもっと区として力を入れてもいいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市では、配偶者暴力相談支援センター、女性総合相談センターを開設し、あらゆる相談を受付ています。 ・<u>城東区においてもDV相談担当係長を1名配置し様々な相談を受けるとともに、施設や緊急保護などにあたっている。</u>

番号	会議	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方
14	福祉部会 (7/16)	<p><u>・会議運営に関して、各委員が要望するばかりではなく、もう少し皆で考える時間が取れないか。</u></p>	<p>・区政会議委員の皆様にはお忙しい中、数度にわたり、<u>時間の無い中ご議論いただいており感謝申し上げる。</u></p> <p>・<u>会議の運営に関しては議長や部会長そして委員の皆さんにお任せしている、区としては、「区政会議の運営の基本となる事項に関する条例」の第3条（基本原則）「区の区域内の基礎自治に関する施策等を実施するに当たっては、区民等の多様な意見を的確に把握するための様々な方法を用いるほか、この条例の定めるところにより、区政会議において、立案段階から意見を把握し適宜これを反映させるとともに、その実績及び成果の評価に係る意見を聞くことを基本とするものとする。」にのっとった活発なご議論を頂いている。</u></p> <p>・<u>今後も更に活発なご議論をいただき限られた予算の中、出来ることから区政に反映してまいりたい。</u></p> <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】 (主な取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民が区政運営に参画する仕組みづくり
15	福祉部会 (7/16)	<p><u>・福祉バスの状況把握はお願ひする。</u></p> <p>(7月1日本会での意見)</p> <p>・赤バスの廃止などで、タクシーで来庁する人が増えたのではないか タクシーを降りる人をつかまえてなぜタクシーで来たのか、一般の人には何できたのかなどアンケートをとって実態をつかんで施策を考えるべきでは</p>	<p>・8月に実施した区民モニター調査において区役所や地域が今後力を入れて取組む事業を11項目を並べ、聞いた（回答総数916回答）ところ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1位に高齢者やその家族に関する介護相談事業、2位に認知症高齢者とその家族を支援する取組み、3位に子育て支援などで、 ・高齢や障がいのあるかたを対象とした移動手段に関する8位であった。 ・<u>現在区役所来庁者を対象に移動手段に関するアンケート調査も実施しており、福祉部会でその結果に關して報告させていただく。</u>

城東区区政会議地域まちづくり部会（7月18日）での意見・質問への区の考え方

番号	会議	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方
1	まちづくり部会 (7/18)	<ul style="list-style-type: none"> <u>新庁舎の整備計画をふれあい城東等に掲載できないか。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎の整備に関しては出来る限り区民の利便性に配慮したレイアウトを工夫すると共に、<u>区役所が区民をつなぐ場となるような整備を行う。</u> <u>その整備概要は適時広報誌やホームページに適宜掲載する。</u>
2	まちづくり部会 (7/18)	<ul style="list-style-type: none"> 現区役所の跡地利用に関して 「区民の意見をお聞きし、有効な跡地の活用を目指す」との回答を得た。ついでには<u>緑地化をしっかりとやっていただきたい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 区役所の跡地については、市の方針として売却が決定している。ただし売却の折には<u>区民のみなさまのご意見をお聴きしながら、有効な跡地の活用をめざす。</u>
3	まちづくり部会 (7/18)	<ul style="list-style-type: none"> 子供が安心して遊べる場所に関して 公園で花を育てる教育をしてはどうか 公園のボランティアはほとんどが高齢者だが、小学生、中学生が参加してみんなで公園づくり、花を育てることができれば、みんなが公園を大事にし、以下のような効果が期待できるのではないか 自作の花が咲くことで、子どもが喜んで遊ぶ場所となる。 犬や猫のふんが減る 情操教育になる 触れ合いができる、きずなが生まれる 公園への考え方を変える必要があるのではないか。 公園づくりは区が一括で進めるのは難しい、小さな単位で声を上げて進める必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 大阪市では、地域緑化、環境保全、地域コミュニティの育成を目的とした「種から育てる地域の花づくり支援事業」（以下、種花事業）を展開している。 本市の「種花事業」の今後の方向性としては学校園の利用があげられている。 当区では、鯫江公園、みふき児童遊園という2箇所に花づくり広場を設置し、花苗の供給を行っています。 <u>当区といたしましても子ども達が花苗を育成することは、情操教育上の効果等が非常に大きいと考えている。</u> <u>今後、学校園等と調整を行い、区としても高齢者や子どもが一緒に花を育てるような機会を提供できるように努めていく。</u> 子どもの遊び場として新規の公園の整備に関しては、非常に困難であるが、現在ある公園や学校園など地域や建設局、教育委員会などの協力を得ながら、安全な遊び場所として確保していきたい。 <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】 (主な取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民が主体の「花と緑のまちづくり」事業

城東区区政会議地域まちづくり部会（7月18日）での意見・質問への区の考え方

番号	会議	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方
4	まちづくり部会 (7/18)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語学習支援事業に関して ・就学前の子供だけを対象にするのではなく、小学生、中学生、そして大人、そして外国人も混じった外国語学習支援事業の展開ができないか。 ・<u>民間の英会話教室に行けない子供たちに英語を学ぶ機会や場所をつくり、社会に出たときに話せる英語が身についている大人になってもらえるような事業を検討できないか。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市においては、「英語イノベーション事業」として、グローバル社会において活躍し貢献できる人材を養成するため、大阪市立の学校における英語教育の強化を図るため、<u>小学校低学年からの英語教育、ネイティブ・スピーカーを新規に採用し、小・中学校に生きた英語にふれる機会を増やすよう取組みが進められている。</u> ・城東区においても平成25・26年度と「子ども英語学習支援事業」に取組んでいる。 ・今後、<u>全市的な英語学習施策の状況を鑑みつつ検討していく。</u> ・また、平成26年度の城東区生涯学習ルーム事業において区内居住者を対象に2つの校区（鳴野、鯨江東）で英語に関する教室が開催されている。 <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】 本市の英語教育の状況や25・26年度の実施事業検証を行うため予算措置対応はしない</p>
5	まちづくり部会 (7/18)	原発に変わるエネルギーを確保のするため、 <u>ため池や屋上に太陽光パネルを設置し、その電力を売り減価償却していく</u> ようなビジョンを区としてもてないか	<p>太陽光発電システム設置事業や設置促進補助などエネルギー関連施策は区の独自施策としては取り組まず、<u>大阪府や大阪市の施策の動向を注視しながら協力の要請があれば対応する。</u></p> <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】 運営方針への記載や予算措置対応はしない</p>
6	まちづくり部会 (7/18)	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口業務が民間委託されると、民間の方はベネッセの個人情報流出事件のようにどんな方が作業されているかわからない、大事な戸籍とか、そういうものは公できちっと管理し、住民を守るという意味で<u>業務をしてほしい</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託によりサービス向上を図るという大阪市全体の方針、取り組みの中で進めているもの。 ・窓口で扱う個人情報の管理は市職員が業者指導・監督を厳密に行い取り扱っている。 <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】 ・窓口業務委託職員を含む区全職員を対象に個人情報保護、コンプライアンス等に関する研修を適時実施する。</p>

城東区区政会議地域まちづくり部会（7月18日）での意見・質問への区の考え方

番号	会議	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方
7	まちづくり部会 (7/18)	<ul style="list-style-type: none"> ・城北川や歴史、文化を活用した城東区への愛着づくりに関して、区には大きなものがあるわけではないが、3年前から榎並野江地域で昔一時代を起こした榎並の猿楽への意識を区民一緒につくろうと取り組んでいる。 ・文化の発信としては、1つだが27年度の運営方針の中にも歴史、文化として1つづつ着実に載せていただきたい。また、区を挙げてだんじりが行きかうようなまちづくりもいいのではないか。<u>城東区の歴史、文化を、27年度運営方針の中でもう少し大きく取り上げてもいいのではないか。</u> ・歴史を掘り起こす会という活動がある、相撲のことや、冬の陣のことなど、掘り起こしている。そこに光を当ててあげたら、もっとみんながいろんな城東区の歴史がわかるんではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・城東区魅力創出事業に取り組む。 ・地域活動団体と連携し、様々な事業を展開し区の魅力を発信する。 ・歴史的・文化的な魅力に触れられるよう情報発信を行う。 ・「ふれあいマップ」をリニューアルし、区内名所・旧跡等を効果的に紹介をする。 ・区内的成城高校写真藝術部の協力により、城東区魅力発信用ポスターを作成する。 <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】 コミュニティづくりと都市魅力を発信のため取組みと予算の措置を行う。</p> <p>(主な取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城北川フェスティバルの開催 ・キャンドルナイトの実施 ・SARUGAKU祭の開催 ・第九演奏会の実施 ・区内名所・旧跡等への案内板の設置 ・「城東区ふれあいマップ」の作成と配布 ・城東区歴史冊子作成（小学校地域学習で活用）
8	まちづくり部会 (7/18)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信に関して ・花づくりの話や、地域のグループの情報が区全体に広報できていない。 ・区の広報、区政便りは誰も見ていないのではないか。 ・大阪日日新聞にただで入っているものに地域のことがたくさん載っている。それは一生懸命に見る。 ・区の広報を民間委託し、各地域の情報を発信してはどうか ・いろいろな情報発信がなされていると思うが、多過ぎて食傷ぎみではないか、むしろ逆に的を絞るべきではないか（わがまち城東マップなんかはどこで入手できるのか） 	<ul style="list-style-type: none"> ・区ホームページやツイッターを使った効果的な情報発信の強化を行う。 ・広報誌をA4版化すると共に内容の充実を図る。 ・区役所の新設移転に伴いふれあいマップを更新する。 ・地域活動協議会の活動を各地域のホームページ等に掲載するとともに区のホームページとの連携を図る。 ・中間支援組織と連携し、必要な支援に取り組む。 <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報手法の見直しを行うため、関連予算の措置を行う。 <p>(主な取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区広報誌「ふれあい城東」のA4版化 ・ふれあいマップ作成

城東区区政会議地域まちづくり部会（7月18日）での意見・質問への区の考え方

番号	会議	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方
9	まちづくり部会 (7/18)	<ul style="list-style-type: none"> 行政として、<u>将来の城東区の地域や環境を戦略的につくっていく必要があるのではないか</u>。今は無計画にまちが開発されている。それを住民の努力で支えている。 これだけの人口があり、当面の緊急の課題が多い区ではないと思うので、今後、<u>もっと活性化し、魅力のあるまちにしていくことこそ経営ではないか</u>。 また、<u>自治的な問題意識を持っている住民の生かしかたを考える必要があるのではないか</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> 区では長期的な計画として区将来ビジョンを掲げ、その達成に向け毎年運営方針を作成し、施策を進めている。 ただし、ハード面の整備が必要な街づくりについては多大な予算措置や関係法令の整備など広域的な調整も必要なことから区としての独自の計画を作成するにはいたっていない。 区としては豊なコミュニティ、人と人との絆を育み地域活力の活性化を図ることで街づくりをすすめる将来設計を行っている。
10	まちづくり部会 (7/18)	<ul style="list-style-type: none"> 阪神高速淀川左岸線の延伸に関し、昔アンケートがあったように思うが、<u>昨今、何の説明も無い進捗状況が知りたい</u>。 すでに環境アセスメントも済んでいるのでは、環境や健康に悪影響があるのか、<u>住民に被害が出ないよう協議する場が必要ではないか</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路の整備計画等に関しては、本市都市計画局や建設局、大阪府など関連組織より適宜情報を入手し、関連機関に意見するとともに、区民への住民説明や情報提供を促していく。
11	まちづくり部会 (7/18)	<ul style="list-style-type: none"> 地活協がスタートして、ことしで2年目になるが、まだ<u>昔の連合の体制を崩すことができていない</u>。NPOやグループが参画できにくい状況にある。運営方針の中で、地活の考え方みたいなものをもっと住民にわかりやすく広報する必要がある。 もっと地活協を理解し、トップの意識的なことを変革する必要がある。地域の活性化というまちづくりの基礎がまだまだ従来どおりになってるという懸念があり、来年度の運営方針では<u>地活協のあり方</u>を少しクローズアップしてはどうか。 地活協は、根本に地域振興会があり、その上に社会福祉協議会、その屋上屋を重ねたのが地域活動協議会となっており旧態依然としているという意見もわかる。 しかし、間口を広げて、皆さんのお意見を聞いて、皆さんも一緒にやりましょう、となっていない現状もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動協議会の活動を各地域のホームページ等に掲載するとともに区のホームページとの連携を図る。 中間支援組織と連携し、必要な支援に取り組む。 各種イベント・活動などの開催内容をツイッターなどを利用し、効果的な情報発信を行う。 <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】 地活協補助金など関連予算の措置を行う。 (主な取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動協議会補助金の支出 地域コミュニティ支援事業を継続

城東区区政会議地域防災部会（7月23日）での意見・質問への区の考え方

番号	会議	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方
1	防災部会 (7/23)	<ul style="list-style-type: none"> ・津波災害と水害における緊急時避難施設としての使用に関する協定書の締結は、その後どういう形で進められているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、小学校、中学校、市営住宅の公的施設38箇所が避難施設として指定されている。 ・平成27年度においても引き続き水害時高所避難場所として民間のマンションなどに協力を求めるなど取り組みを促進する。
2	防災部会 (7/23)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時避難対策に関して ・連合での避難場所はまず校下の小学校になっているように思うが、<u>近隣に中学校やほかの避難場所があるときはそちらに避難する</u>ということでもよいのか。 <p>(7月1日本会での意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒲生公園を城東区の顔として公園整備してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所については、自宅から行きやすい場所を日頃から確認していただき避難するということ下さい。 ・区民が災害時避難所などが分かるように地域での防災訓練や災害時図上訓練の促進を図る。 <p>(災害対応能力の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒲生公園を城東区の顔として公園整備してはどうかとのご意見もいただいている。 ・城東区には広域避難場所がなく、周辺では鶴見緑地や大阪城公園が指定されており、区内に広域避難場に準じる避難場所が必要である。 ・新庁舎が竣工する機会に合わせて、蒲生公園・蒲生中学校・新庁舎を区の防災拠点として整備する。 <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】</p> <p>地域で支えあう安全で安心なまちづくりとして関連予算の措置を行う。</p> <p>(主な取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新城東区役所、蒲生公園を防災拠点として整備 ・地域防災対策事業（地域防災訓練の支援等）

城東区区政会議地域防災部会（7月23日）での意見・質問への区の考え方

番号	会議	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方
3	防災部会 (7/23)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>大阪市災害時要援護者避難支援計画において、何が検討されているのか教えてほしい。</u> ・<u>計画の中で名簿の取り扱いに関して、個人情報保護との関係から地域へ提示することは難しいと思われるが、全体計画の中ではどのように取り扱われるのか。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>大阪市避難行動要支援者避難支援計画（改訂案）では、大規模災害発生時に、行政では対応できず、自主防災組織に頼らざるを得ない状況が予想され、避難行動要支援者の自助と地域の共助が重要であり、自主防災組織が大きな役割を担うことが期待されている。</u> ・<u>避難支援プランの作成、災害時の安否確認や避難支援の円滑な実施のための自助・共助・公助の役割を取りまとめている。</u> ・<u>地域において「避難行動要支援者支援計画」を作成している場合は、区役所が作成する「大阪市避難行動要支援者名簿」の情報提供を要請することができる。区役所は本人同意をとって提供することができる。</u> ・<u>避難行動要支援者の所在把握については、手上げ方式、同意方式があり、手上げ方式を基本に広く周知し、併せて同意方式を行い補完することが望ましいと考えられる。</u>
4		<ul style="list-style-type: none"> ・<u>災害時における障がいを持つ人たちの現状・実態はどうなっているか。</u> ・<u>事業所とはつながりがあるが、住んでいる地域でのつながりが持てているかは疑問、誰が支援にいくのか、誰が手を差し伸べるのかを地域で把握しておく必要があるのではないか。</u> ・<u>障がいをお持ちの方にはどのような助けが必要なのか障がいの種別や程度にもよるため、想定しがたい。施設の職員と地域との間でコミュニケーションやディスカッション、また施設での介助体験が必要では。</u> ・<u>地域活動協議会には包括支援センターにも参加いただいているが、どういう形で連携をとればいいのか、検討できておらず今後連携方法の検討も必要。</u> ・<u>また、それは町会が把握することができるのか。</u> ・<u>行政の力が必要ではないか検討してほしい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>災害弱者と言われる障がい者、高齢者などは災害時にはより困難な状況に立たされることから地域の状況に応じた避難行動要支援者支援の環境整備が必要。</u> ・<u>ソーシャルインクルージョン推進事業において、地域福祉支援員が日頃の地域福祉活動を通じて情報を収集し実態を把握するとともに、それぞれの持場での役割が有効に果たせるよう福祉関係者、防災関係者などとの連携を強める。</u> ・<u>また、区内障害者関係機関で構成される城東区地域自立支援協議会では、障害者を対象とした防災訓練を実施し、各地域の防災訓練にも積極的に参画しています。今後はさらに地域との協働の取り組みが進むよう、支援します。</u> <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>防災や福祉、地域活動協議会の活動支援など多岐の取り組みを実施する。</u> (主な取組み) <ul style="list-style-type: none"> ・<u>地域防災対策事業</u> ・<u>地域における要援護者の見守りネットワークの強化事業</u> ・<u>ソーシャルインクルージョン～地域全体で考え支え合う地域福祉システムの構築と充実</u>

城東区区政会議地域防災部会（7月23日）での意見・質問への区の考え方

番号	会議	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方
5	防災部会 (7/23)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫に関して ・学校など公の施設を使っているが、マンションの倉庫など民間賃貸物件を使えるかまた、地活協補助金などで支出可能か。 ・学校に対して、地域から防災倉庫のため2階の教室を貸して欲しいなど直接お願いてもいいものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションなど管理組合独自で自主的に備蓄保管している事例はある。 ・公の備蓄物資について、民間物件の倉庫を使用することは可能ではあるが、災害時に鍵の保管者の対応や備蓄物資の賞味期限・管理・配分など地域担当者の役割分担、連絡体制など費用以外にも多くの課題がある。 ・地域活動協議会での補助金の支出については、地域活動協議会の事業として位置づけることができるのであれば、活動費補助金での対応ができると考えられる。 ・防災倉庫を上階に確保することについては、区役所から学校へ協力依頼をしている。地域からも学校にお願いしていただければありがたい。
6	防災部会 (7/23)	<p>女性会の地域学級で城東消防署の予防指令に講演を頂いたが、こういった勉強会も大事ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所では、地域の自主防災活動の向上に取り組んでおり、地域活動協議会や女性会、老人会などで図上訓練や防災マップの作成を支援するとともに、勉強会や講演会、研修などを実施している。 ・また町会、企業や各種サークルなど依頼による防災出前講座等も実施している。 <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で支えあう安全で安心なまちづくりに取組む（主な取組み） ・子育てサークルでの出前講座や、マンション住民向け出前講座など、世代や居住形態ごとの出前講座などを開催する。

城東区区政会議地域防災部会（7月23日）での意見・質問への区の考え方

番号	会議	委員からの意見・質問	意見・質問への区としての考え方
7	防災部会 (7/23)	<p>・区内の防犯カメラの設置台数と今後の設置計画を教えていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置場所の決定方法はどうか。 ・今後の設置に関して地域の人たちの意見を踏まえるのはもちろん、事業所の意見もきいてもらえないか。 ・<u>カメラは設置の単価はいくらか。</u> <p>(7月1日本会でのご意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの設置に関する予算が3,142千円計上されているが、区全体の防犯対策の取り組みとしては足らないのではないか。 ・民間の家などへの補助金支給も考えて設置台数を増やす取り組みが必要では。 	<p>・現在、区には以前本市市民局の補助事業として設置したものと区が直接設置したカメラが合わせ<u>338台</u>設置されている。設置箇所は地域や警察と協議している。今後も地域活動協議会や関連団体及び警察と協議を行い、必要箇所に設置し、防犯効果を高めていく。</p> <p>・カメラの設置費用は機種や機能により違うが、区が設置した物では設置費用などを含めて<u>約28万円程度</u>の経費がかかっている。</p> <p>【平成27年度運営方針における取組や予算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で支えあう安全で安心なまちづくりに取組み。 （主な取組み） ・地域防犯安全対策事業 (防犯カメラの設置等)